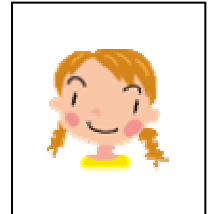




ひ ゆ ー ま ん ら い つ

第80号 平成19(2007)年

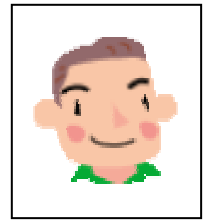
子どもと家庭について考えよう！



子ども達の表情って？



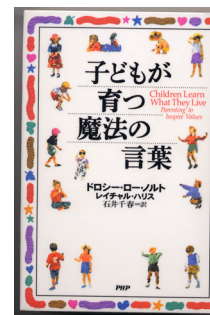
子どもは、どんな表情で学校から帰ってきますか。満足感にあふれた顔、楽しさがあふれた顔。そして何か嫌なことがあった暗い表情、怒った顔など色々あると思います。子ども達に学校生活にどんなことがあったのでしょうか。うれしかったことはすぐに家族に報告するでしょう。辛かったことや嫌なことがあったときは暗い表情で帰ってくるでしょう。「どうしたの」と声をかけても「べつに～」と言って逃げてしまうことがあるかもしれません。「べつに～」の言葉の裏には何があったのか優しく聴いてあげることが必要だと思います。そのためには、日常生活の中で、家族のスキンシップと安心感が大切です。何でも聴いてくれる、真剣に相談に乗ってくれる家族づくりが重要なのではないのでしょうか。



本の紹介

子どもが育つ魔法の言葉 ドロシー・ロー・ノルト

「子は親の鏡」という詩があります。聞いたことがあるという方も多いと思います。たくさんの国で紹介されるこの詩を作者自身が自分の言葉で説明している一冊です。「まるで読者と語り合っているようだ。」作者の言葉です。皆さんも魔法の言葉について作者と語り合ってみませんか。人権情報センターで貸し出しています。





第6回講座のお知らせ

19年度の最後の人権談話室ですので、皆さんぜひご参加ください。

11月13日(火) 19:00~21:00 米子市人権情報センター

「ドメスティック・バイオレンス(DV)を考える ~DV被害者支援から見えるもの~」

安田 寿子 さん (女性と子どもの民間支援みもぎの会 代表)

ドメスティック・バイオレンス(DV)は、親密な関係にあるパートナーに対してふるわれる体や心への暴力です。DVは男女の不平等な力関係(経済的・性別役割分担)から生まれ、その被害は当事者だけでなく、子どもにも深刻な影響を及ぼします。DVの問題から、男女の共生や子どもを含めた家庭の中の人権について考えてみませんか。

シンポジウムが 開催されます!

DVの中で育った子どもたち

~子どもたちの心身に与える深刻な影響~

日時 2007年12月2日(日)

13:00~15:30 (開場12:30)

● 手話通訳があります

入場無料

会場 米子コンベンションセンター小ホール

● 託児があります

ご希望のかたは、11月26日までにご連絡ください。
(お子さんの人数と年齢をお知らせください)

● 13:00 基調講演 「DVの中で育った子どもたち」 弁護士 川崎 政宏

● 13:40 アンケート報告

女性と子どもの民間支援みもぎの会代表 安田 寿子

● 14:00 シンポジウム

コーディネーター 弁護士 川崎 政宏

シンポジスト 小児科医 岡空 輝夫

心理カウンセラー 市場 恵子

サバイバー 池田 博子



イラストはDV被害者がシェルターで描いたものです

主催 : DVシンポジウム実行委員会

連絡先 : 090-1189-1369 伊藤

FAX : 0859-23-1157

